

臓器提供意思表示促進、移植医療推進体制整備支援 主な取組 (令和5年度)

グリーンリボンキャンペーンin宮崎(イオンモール宮崎)

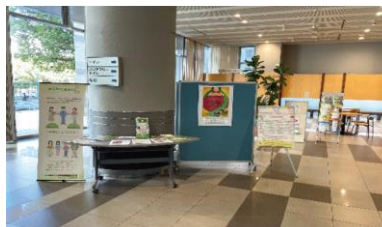


臓器移植法が施行された10月16日は家族や大切な人と「移植」や「いのち」のことを話し合い、お互いの臓器提供に関する意思を確認する日「グリーンリボンデー」です。今年度も10月に啓発イベント等を展開する予定です。

みやざき“いのちのリレー”ポスターコンテスト



最優秀賞



移植医療は見知らぬ人を救おうとする善意による臓器提供があって成り立つ医療であり、“いのちのリレー”とも呼ばれています。コンテスト2年目となった5年度も“Gift of Life”(いのちの贈り物)を臓器提供者(ドナー)の視点から、多くの人に伝えたいといった作品が数多く集まりました。ポスターコンテストは今年度も実施します。

出前講座の様子



出前講座は当財団コーディネーターが学校等に出向き、わかりやすく説明します。対象は県内の中学生以上の生徒、学生、社会人です。受付は随時行っております。詳しくはホームページをご覧ください。

腎臓提供協力病院連絡会議

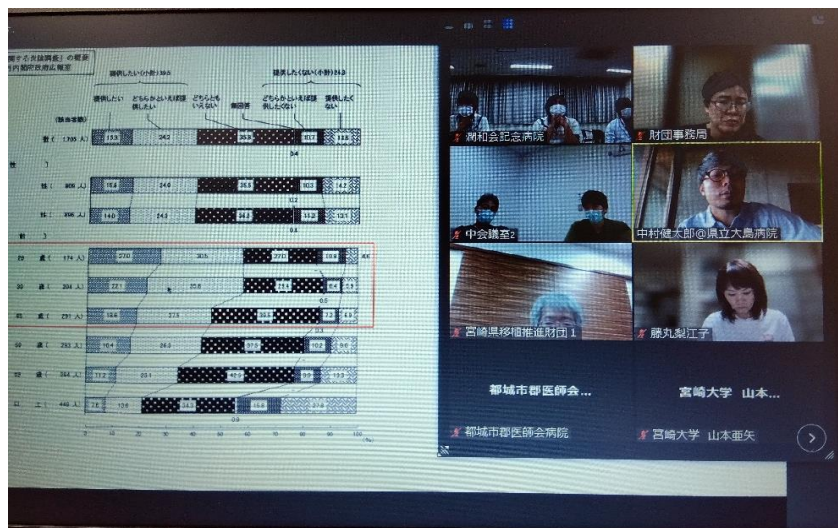
第1回会議(ハイブリッド開催)

演題:臓器提供のリアルな現場 ~つなぐ医療をつなげるために全ての医療者に伝えたい事~



第2回会議(WEB開催)

演題:臓器提供の適応判断とドナー管理



腎臓提供協力病院(県内12施設)では、「臓器を提供したい」という患者本人や家族の意思をしっかりと受け止め、適切に臓器移植手術に繋げていくことができるよう院内の臓器提供体制を整備しておくことが重要です。この連絡会議では、移植医療に精通した県外講師による講義や体験型セミナー等により、臓器提供の際に必要な知識や技術の向上を図るとともに、情報共有を行っており、当財団はその活動を積極的に支援しています。